

# 砺波総合病院 から



市立砺波総合病院  
外科 清原 薫

市立砺波総合病院  
☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。

## ピンクリボン運動

早期発見・早期治療で

乳癌死を減らしましょう

乳癌は年々増加しており、今や日本女性の約15人に1人が乳癌になり、年間1万人以上が乳癌で死亡しています。しかし、乳癌は早期発見すれば約9割の人が治る病気です。

ピンクリボン運動は、乳癌の早期発見・早期治療の大切さを訴えるためにアメリカで始まったものです。

乳癌の早期発見には…

乳癌検診や自己検診を小まめに行うことを勧めています。検診では触診とマンモグラフィー（レントゲン検査）

が行われます。マンモグラフィーは乳房を2枚の板で挟んで撮影しますが、触診では分かりにくい乳癌を見つけることができます。乳がん検診は病院北棟の砺波市健康センターで予約できます。

一方、自己検診は自宅でも簡単にできますので月1回ぐらい行ってみてください。入浴時に大きな鏡の前に立ち、両腕を挙げて乳房の皮膚にヒキツシができるか、乳首を絞ってみて分泌物が出ないか、手に石鹸を塗り、乳房、首、脇を撫でてみてシコリに触れないか、みてください。自分でシコリに気づいて乳癌を発見できた方も大勢います。

病院では乳房の触診、マンモグラフィ、超音波検査を行います。必要な方には針を刺して細胞を採取し（針生検またはマンモトーム生検）、顕微鏡検査を行います。これらの検査の結果、乳癌と診断される方はごくわずかです。早めに検査を受けて安心してください。



乳癌の治療方法は…

手術、薬物、放射線治療などがあります。

手術方法には乳房切除術（乳房を全部切除）と乳房温存手術（乳房の一部を切除）があります。手術中の顕微鏡検査で腋窩のリンパ節に転移がなければ、リンパ節の大半は残します（センチネルリンパ節生検）。リンパ節を取らない場合、手術後の腕の腫れ（リンパ浮腫）はほとんどありません。さらに現在、形成外科では乳房切除術後の人工乳房（インプラント）による乳房再建術の準備がされています。

薬物治療にはホルモン療法、抗癌剤治療などがあります。乳癌では再発予防の薬物治療を重視しますが、薬の副作用と再発の危険性を比較して治療方法を決めます。当院の外来化学療法室では薬剤師や看護師が、薬のことや副作用対策について相談に応じます。

放射線治療は乳房温存術後の再発予防のため、リンパ節、骨、脳などに転移した場合に用います。

再発の可能性

乳癌は手術後5年以上経過しても再発の可能性があるため、通院期間が長くなります。また、乳癌の再発部位は乳房周囲のほか、肺、骨、肝臓、脳とほぼ全身に及びます。このため乳癌の再発症状は多様で、さまざまな症状でも再発ではないかと心配になります。さ

らに、若い人でも発生するため、患者さんは家庭や職場のことなど、様々な問題や悩みを抱えながら治療を受けることとなります。

そんな方々に少しでもお力になれるよう、当院では「がん相談支援センター」（外来棟3階）を設置し、看護師やソーシャルワーカーがご相談に応じています。

パネル展示

日本では、毎年10月をピンクリボン月間として位置づけ、乳癌の早期発見・早期治療の大切さを訴えるための様々な企画が行われています。当院では病院正面玄関ホールに当院が行っている乳癌の診療内容に関するパネルを展示します。興味のある方は、ぜひお越しください。



## 病院敷地内禁煙をお願いします

病院には気管支ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、妊婦、赤ちゃんを抱いたお母さんも通っています。

～あなたならきっとできる～

★禁煙開始方法

思い立ったら吉日、いまから禁煙！

市立砺波総合病院 禁煙対策委員会